

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	メエメエ草刈り隊事業
事業主体 (連絡先)	木島平村 民生課生活環境室 (0269-82-3111)
事業区分	環境保全及び景観形成に関する事業 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	510,718 円 (うち支援金: 408,000 円)

事業内容

野沢温泉や飯山方面から多くの車が行き交い、かつ木島平村の玄関口ともいえる県道 38 号線。ここの堤防に繁茂するセイタカアワダチソウなどの外来植物をヤギの菜食活動により駆除を行う。

加えて「ヤギのいるのどかな農村風景」を演出することにより、訪れる方や近隣の方へのアピール効果、癒し効果を狙った。

前年度からの継続事業であり、当年度は更なる規模拡大を目指した。

- ・放牧期間 5月7日～11月10日 (約半年間)
- ・繋牧頭数 5頭
- ・除草範囲 約 9,800 m²



【繋牧の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

単純な除草面においては、思うような効果が得られなかった部分があったが、継続事業ということもありヤギの放牧事業が地域の方に一定程度定着したのか、ヤギの様子を見に訪れる方が一定程度いた。

また、マスメディアへの露出の機会もあり、商業的な効果は一定以上のものとなった。

教育、文化の振興の面においては、家族連れの動物と触れ合う機会の一助となったことに加え、この事業に影響されヤギを飼い始める人が複数現れ、今後のコミュニティ形成の発端となる可能性がある。

また総務企画警察委員会の視察先にも選定され、県と共に現地での視察員の応接等を行った。

【目標・ねらい】

- ①除草範囲 9,800 m²
- ②景観形成及び生態系の保全
- ③注目度のアップ

※自己評価 【A】

【理由】

メディア等の露出についてや地域への定着化、ヤギを飼いたい人の登場などアピール効果が想定以上であったため A とした。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度をもって当事業を一区切りとし、休止する。ただし事業効果として得られた要素のうち、除草効果、景観効果、宣伝効果など今後ほどの部分に特化していくべきか、またその際の効率的な運営方法などを見定め、動物を飼育する際必ず生じる人的負担のことなども含め再度検討を行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある